

【レビ記3章】

「祭司であるアロンの子らは、祭壇の回りにその血を注ぎかけなさい。」2、8、13節

神はイスラエルの民をエジプトの苦役から解放し、契約を結んで「聖なる宝の民」とされました。罪ある人間がきよい神様に近づく為に必要な“いけにえ”について学んでいます。今回は“和解のいけにえ”についてです。神に感謝を表すささげ物で、「感謝献金」にあたるものです。(酬恩祭)〔ナジル人への誓願が終わったら捧げる〕

「祭司であるアロンの子らは、祭壇の回りにその血を注ぎかけなさい。」と神様はモーセに語られています。「律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる～また、血を注ぎだすことがなければ、罪の赦しはないのです。～キリストは、ただ1度、今の世の終わりに、ご自身をいけにえとして罪を取り除くために、来られたのです。」ヘブル9:22、26

このいけにえも「傷のないもの」でなければなりません。このいけにえはイエス・キリストです。キリストのいけにえによって人は神との和解が与えられ、神との平和が成立したのです。神にささげた部分は脂肪の部分であり、残りの部分はささげた人のものでした。「脂肪」は最上の部分です。私たちが捧げものをする時には最上のものをささげましょう。信仰と捧げ物とは非常に関係があるのです。

もし私たちが旧約の時代に生まれているのなら、一回一回動物を引っ張ってきて、それをほふり、その血を流してあがないが成されて初めて神様に礼拝するとは何と大変なことでしょう！新約時代の私たちは、ただただ「イエス・キリストのみ名によって」神様の前に出て礼拝できるというなんという恵みの時代でしょうか！！ イエス・キリストが命を差し出してあがないとなられ、私たちが救い出してくださいましたからです！！今は恵みの時、救いの日です。時が過ぎ行く前に、この福音を愛する人たちに伝えて行きましょう！！

♪愛する天のお父様 主イエス・キリストを今日も信じ 神の言葉に聞き従い すべてを悔い改め 御心を求め <すべてに感謝>×3 み名をあがめます♪

「そして人には、1度死ぬことと死後に裁きを受けることが定まっているように、キリストも、多くの人の罪を負うために1度、ご自身を捧げられました。2度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いの為に来られるのです。」ヘブル9:27



Siloam

2016年3月6日 No.883

(シロアム:遣わされた者 ヨハネ9:7)

新年度の御言葉

ルカの福音書3:2~4

「神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。」2節

「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。」4節



主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>